

## 学術講演会 報告書 (平成 19 年度 第 3 回)

平成 20 年 4 月 3 日

1. 担当者名 : 金子 富士雄
2. 開催日時 : 平成 20 年 3 月 23 日 (日) 13:00 ~ 17:00
3. 会場 : 神奈川県 歯科医師会 会館 501 号室 (5F)
4. 演 目 : インプラント治療を予知性高く安全に行うために
5. 講師名 : 小川 洋一 先生
6. 講演会出席者 : 35 名



### 7. 感想

近年、インプラント治療の需要がますます高まっております、患者さんの、より高い要望に答えていかななくてはならない。従来の 1 枚のレントゲン写真 (パノラマ) だけでは、患者さんへの理解や手術の確実性を求めるのには、限界がある。そこで、CT を撮影 (近隣の病院へ撮影依頼) しそれを解析するソフトを使うことで、**インプラント治療を予知性高く安全に行う事が出来る。**

参加者にノートパソコンを持参いただき、インプラントの解析ソフト (SimPlant : マテリアライズ・デンタル・ジャパン社) を使用して、小川 洋一先生とともに、パソコン上でフィクスチャー (インプラント体) を埋入したりして、バーチャルのシュミレーションを全員で行った。8 割の人が初体験で、楽しく勉強ができました。

講演後のアンケート調査で、もっと、講演を聞きたかったとゆう要望が多かったので、1 年後にもう一度、開催したいと思います。

「最近の歯科医は元気がない、萎縮している。下を見ずに、もっと前を見て、元気を出して頑張ろう」と小川 洋一先生に言われ、勇気や元気が出てきました。純粋な学術講演会でありながら、小川 洋一先生に励まされた感じです。**歯医者がんばれ!**